

2017 年 11 月 24 日

報道関係各位

一般財団法人 日本アムウェイ財団

【イベント開催レポート】

野田村キッズヒップホップダンス in 野田村総合文化祭（岩手県） ヒップホップダンススクール「ねま〜るdeオド〜ル 2017」 - 世界大会出場キッズダンスチームと感動の再会と共演！ -

【開催日時】10 月 29 日（日） 11:35～13:45

【開催場所】野田村体育館/アムウェイハウス「野田村リメンバーホープヴィレッジ ねま〜る」

一般財団法人 日本アムウェイ財団（東京都渋谷区宇田川町 7-1 代表理事：佟 嘉楓）は、当財団が取り組む「Remember HOPE 東北復興支援プロジェクト」において、2015 年 12 月に完成したコミュニティ交流施設「野田村アムウェイハウス」（岩手県野田村）にて、村内の子供たちを対象に、野田村ヒップホップダンススクール「ねま〜るdeオド〜ル 2017」を、昨年に引き続き、2017 年 8 月 29 日（火）から全 7 回にわたり、「ダンススクール実施プロジェクトチーム 2017」および「野田村商工会」と共に開催してきました。

今回のダンススクールは、野田村の子供たちが一流のヒップホップダンスに触れる新しい体験を通じて、ダンスの楽しさや達成感を感じ、健やかな「のだっ子」として成長していく一助となることを目指しました。講師には、2015 年、2016 年のヒップホップダンス世界大会（WORLD HIPHOP CHAMPIONSHIP）バーシティ部門（13 歳～17 歳）で連覇のキッズダンスグループ、「KANA-BOON！」を指導する、深澤 きよ美（HANA）講師を迎え、本格的な振り付けと指導をしていただきました。

昨年の夏、HANA 先生をはじめ、野田村の復興応援隊のご協力のもと、「野田村アムウェイハウス」でキッズダンススクールが実現。野田村の子どもたちは生まれて初めて出会ったヒップホップを、野田村最大の祭り「野田祭り」で発表しました。また、世界大会出場のキッズダンスチームとの出会いから、2 年目になる今年、更にメンバーを拡大し本格的なダンスにも挑戦。子どもたちの感動の再会を経て、「野田村総合文化祭」で共演を果たしました。ステージでは、ヒップホップ世界大会で入賞した「KANA-BOON！」と、「NEXT Jr.」も世界レベルのダンスを披露し会場を圧倒させました。



総勢 46 名で共演した「Do Party de Do Dance」



昨年以上に成長し、躍動感ある本格的なダンスに挑戦

« 本件に関するお問い合わせ »

日本アムウェイ PR 事務局（㈱アンティル内）担当：芝田・吉田・飯島 行

TEL: 03-5572-6061 FAX: 03-6685-5267 Email: nihonamway@vectorinc.co.jp



世界大会ジュニア部門に出場した「NEXT Jr.」



世界大会バーシティ部門に出場した「KANA-BOON！」

「野田村総合文化祭」出演後には、「野田村アムウェイハウス」でこれまでサポートをしてくださった関係者を集めお礼のダンスを披露。また「生涯学習センター」に場を移し、「再会セレモニー」を実施し、それぞれのダンスチームから思いが沢山詰まった手紙の交換等で、さらに交流を深めました。

コミュニティハウスが、人々の新しい挑戦や出会いを応援する場所として、さらに多くの人々から活用されることが期待されます。

野田村のキッズダンスグループ OHANA☆KIDS の保護者は「子供たちだけではなく、お母さんたちもヒップホップの魅力に引き込まれています。ダンスを通して、多くの出会いに恵まれたことを大変感謝しており、子どもたちの成長を間近で感じることが出来て大変感動しています。うちの子もダンスにすっかりはまったみたいで、これからも毎年踊れる機会をいただけたら嬉しいです。」と話していました。

【登壇者コメント】

■ダンススクール実施プロジェクトチーム 2017（のだむら復興応援隊） 崎山 久美さん

皆さま、応援に来てくださってありがとうございました。OHANA☆KIDSも今日は元気いっぱいに踊ることができて、大成功だったと思います。HANA 先生をはじめとする指導者の方々、KANA-BOON！や NEXT Jr.の皆さま、遠いところからご協力ありがとうございました。これからも皆さまが元気で笑顔にいられることを心から願っています。

■一般財団法人 日本アムウェイ財団 池部 カンナ

私たちは 2015 年、ここ野田村にアムウェイハウスを建設しました。この活動には、人と人を繋ぐコミュニティの場をつくり、東北の皆さまを元気にしたいという願いが込められています。このアムウェイハウスで練習を重ねてきた OHANA☆KIDS のみなさんがダンスを通じて様々な方々と出会い、多くの仲間と共に本日の本番を迎えたこと、パフォーマンスを見た私は感動で胸がいっぱいになりました。微力ではありますがサポート出来て大変光栄です。ありがとうございました。

■OHANA☆KIDS 代表 米田 麗乃さん

8 月から私たちにダンスを教えてくださいありがとうございます。KANA-BOON！や NEXT Jr.のお兄さんやお姉さんと一緒に踊ったり、いろいろなお話が出来てとても嬉しかったです。またみんなで踊れることを楽しみにしています。

■KANA-BOON！代表 島雄 壮太さん

OHANA☆KIDS のみんな、いつも僕たちを遠くから応援してくださってありがとうございます。みんなと初めて会ってから早一年が経ちましたが、またこうして再会し、一緒に踊ることが出来て本当に楽しかったです。短い時間でしたが一緒に思いっきり楽しむことが出来ました。また次回、会えるのを楽しみにしています。

« 本件に関するお問い合わせ »

日本アムウェイ PR 事務局（㈱アンティル内）担当：芝田・吉田・飯島 行

TEL: 03-5572-6061 FAX: 03-6685-5267 Email: nihonamway@vectorinc.co.jp

■ダンス講師 HANA 先生

チーム HANA の KANA-BOON ! や NEXT Jr. は、普段から沢山の努力を重ね、多くの人に助けをいただき世界大会に挑んでいます。今回も、ダンスで東北の子どもたちを元気にしたいという思いで参加し、のだむら復興隊や日本アムウェイの皆さまに力をお借りすることで、野田村の子供たちとチーム HANA のスペシャルコラボが実現しました。子どもたちのパフォーマンスを見た野田村の皆さまが少しでも元気に、笑顔になってくれることを心から願っています。OHANA☆KIDS が今回の経験を通して、もっとダンスの事を好きになり、沢山練習をして、チーム HANA のメンバーのように世界の舞台で輝いてくれることを期待しています。



ダンス講師：深澤 きよ美（HANA）

（株式会社 HANA エンタープライズ代表）

UNESCO-CID（フランス本部）世界最高基準認定指導者

藤沢市辻堂に自身のダンススクールを構え、HIP HOP では教え子の子供たちを世界大会にまで送り出す実力の指導者。生涯学習ダンスを主軸とし、人の育成を心身ともにサポート。ダンスで東北の子供たちを元気にしたい、東北復興に寄与したいという思いから、本プロジェクトに参画。

■「野田村キッズヒップホップダンス in 野田村総合文化祭」概要

【出演日時】2017 年 10 月 29（日） 11:35～11:45（野田村総合文化祭 10:00 開始～13:00 終了）

【場所】野田村体育館

・ **第一部：** 野田村キッズヒップホップダンス in 野田村総合文化祭（11:35～11:45）

（場所：野田村体育館）

・ **第二部：** 「ねま～るdeオド～ル 2017」感動の再会セレモニー（12:00～13:15）

（場所：アムウェイハウス「野田村リメンバーホープヴィレッジ ねま～る」）

■ヒップホップダンススクール「ねま～るdeオド～ル 2017」

【主催】ダンススクール実施プロジェクトチーム 2017（のだむら復興応援隊）

【共催】野田村商工会、一般財団法人 日本アムウェイ財団

【協賛】株式会社 HANA エンタープライズ

« 本件に関するお問い合わせ »

日本アムウェイ PR 事務局（㈱アンティル内）担当：芝田・吉田・飯島 行

TEL: 03-5572-6061 FAX: 03-6685-5267 Email: nihonamway@vectorinc.co.jp

■ アムウェイハウス「野田村メンバーホープヴィレッジ ねま〜る」

施設名の「ねま〜る」は、この地域の方言で「座る」を意味する「ねまる」を語源とし、人々が集まり交流する、地域に根付いた場所になってほしいという思いが込められています。

【住所】岩手県九戸郡野田村大字第 19 地割 7 番地 2

■ 東北支援プロジェクト「Remember HOPE」の歩み

2011 年 3 月の東日本大震災の被災地復興支援のもと、人と人との絆を取り戻すための活動として、日本アムウェイ合同会社が 2012 年に開始した社会貢献プログラムです。2013 年 10 月 1 日（火）、透明性をもって長期的な支援を行うため、「一般財団法人 日本アムウェイ One by One 財団（現：一般財団法人 日本アムウェイ財団）」を同社内に設立。被災地 3 県（岩手、宮城、福島）のコミュニティ施設の建設とチャリティイベントの開催を通して、地域の人々が集う場所と機会の提供を行う活動を続けています。これまでに 4 棟のコミュニティハウスを宮城県南三陸町、福島県相馬市、岩手県野田村、大槌町に建設。今回の陸前高田市は 5 棟目となり、世界的に活躍する建築家、隈 研吾 氏が建設デザインを担当。

« 本件に関するお問い合わせ »

日本アムウェイ PR 事務局（㈱アンティル内）担当：芝田・吉田・飯島 行

TEL: 03-5572-6061 FAX: 03-6685-5267 Email: nihonamway@vectorinc.co.jp